

# 大庭みちよし 後援会 ニュース

Ohba Michiyoshi kouenkai News

No.172  
2018  
春



3月26日、新袋井市総合体育館の起工式が元パイオニア駐車場において行われた。

新しい体育館は2階建て、延べ床面積約7,600m<sup>2</sup>、メインアリーナにはバスケットコート2面、約500席の観客席や180mのジョギングコースが設けられている。サブアリーナにもバスケットコート1面、隣に武道場やトレーニングルーム、キッズルームも配置されている。(写真はC G鳥瞰図)

## 平成30年度スタート

例年より早かった桜前線も足早に北上し、全国各地から花だよりが届けられる季節となりました。

後援会の皆様、いかがお過ごでしょうか。日頃は大庭後援会に対しまして、格別のご指導、ご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

ところで、あの東日本大震災から既に8年目を迎えました。復興庁の調査では今年2月現在、いまだ7万3千人の皆さんが全国1054の市町村に避難されているとの発表がされています。実は、袋井市にも震災直後47人の皆さんのが被災地から避難されてきましたが、現在でも11人が市内に生活をされています。

また、その後の熊本地震でも今なお仮設住宅で暮らしている方々が沢山います。先般も、災害とトイレの関係を勉強する機会があり熊本を尋ねましたが、震災の爪あとは、未だまちの所々に残されていました。

改めてまして被災され、今なお不自由な生活をされている皆様方に心よりお見舞い申し上げる次第です。

こうした災害は、南海トラフの巨大地震が想定されている私共地域におきましても決して他人事ではなく、行政はもとより、家庭や地域における震災へのさらなる備えの必要性を一層強く感じます。

さて、袋井市の平成30年度がスタートいたしました。今年の市政の重点項目は、①コミュニティセンターを拠点としたまちづくり②ラグビーW杯への準備③企業や大学との連携④教育の充実、これら4本柱を基本に据え各種の事業が計画されています。

変化の激しい今日、活力と創造で、未来を先取るということで本市ではまちづくりが進められていますが、2月議会では私もそうした将来を見据えた課題、「企業誘致」の問題や「教育」問題など(裏面一般質問参照)、様々な角度から一般質問をさせていただいたところです。

いずれにせよ、行政を取り巻く環境は、激動する国内外の出来事に連動して多くの問題が発生しています。

このような時代だからこそ皆様のお知恵をいただきながら、議会活動に取り組んでいかなければならぬのではないかと思います。

どうぞ旧に倍しまして、変わらぬご指導ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。



袋井市議会議員  
大庭通嘉

# 袋井市2月定例議会報告

## 平成30年度予算 & 「平成29年度補正予算など」40議案が示される

### □ 2月定例会開会

平成30年度2月定例会は、さる2月26日に開会し、右表の一般会計をはじめ40議案が市長より、また、議会より2件の議案が提出され、それぞれ審議の結果可決承認され、3月23日に26日間の会期を閉じました。

### □ 上程議案一覧

- ・平成30年度袋井市一般会計予算について
- ・袋井市地区まちづくり協議会条例の制定について
- ・建築工事等に関する協定の締結について(防災センター建築880,000千円)
- ・横須賀高等学校の存続を求める意見書の提出について

ほか市長提出議案37件 ほか議員提出議案1件 全議案可決承認

### □ 市政運営の方針

#### 「みんなで未来の種を育てる年」!

平成30年度は第2次総合計画前期基本計画の中間年

総合計画に掲げたまちの将来像

「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市」にむけ

「人づくり」「地域づくり」「都市づくり」を推進

#### 【重点項目】

- コミュニティセンターを拠点とする地域づくり
- ラグビーワールドカップ2019に向けての万全な準備
- 企業や大学との連携によるまちづくり
- 子育て・教育の充実

### □ 平成30年度予算の概要(歳入)

平成30年度の一般会計は右表のように、323.5億円で、前年比1.5%の減、また、特別会計、企業会計を合わせた総額は535.9億円で3.0%減となりました。歳入のうち市税は前年比2.46億円、1.7%増の149.1億円(46.1%)の計上となりました。

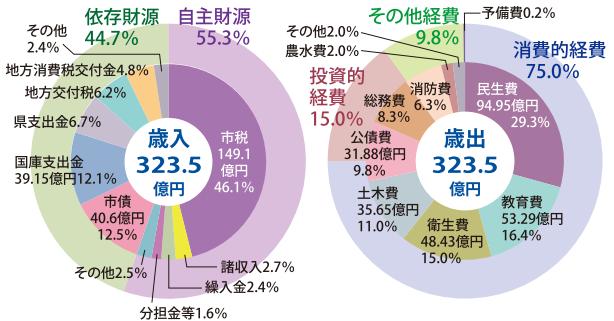
また、地方交付税は前年より3億13%減の20億円、市債は0.5%増額の40.6億円となりました。これにより実質公債費比率は7%程度(例:家族全員の1年間の借金返済額が給与収入に占める割合)と減少傾向に、また地方債の現在高(借金)は昨年より10.7億円増加し、272.59億円となります。なお、経常収支比率が91%程度と平成25年より4年程高止まり傾向となっており財政の硬直化が心配です。

### □ 主な事業の概要(歳出)

事業の主なものとして、平成32年4月オープンを目指す元パイオニア駐車場に総合体育館の建設工事に着手します。道路では山梨中央通り線319.6mや諸井山の手線581mの整備を行います。また、袋井消防庁舎と防災センターの合同庁舎を袋井警察署北側に整備します。袋井駅南まちづくり事業として、区画整理やメディカル地区・商業地区づくりを進めています。津波対策としての防潮堤整備は30年度末までに市施行分として全体の8割、約4.1kmを整備します。さらに、市内14ヶ所の公民館は4月より名称もコミュニティーセンターに変更し、それぞれのセンターにまちづくり協議会を設立します。

放課後児童クラブは袋井東小、西小学校区に施設整備を行い、平成21年度591人だった施設定員を31年度には1,247人を予定しています。また、治水対策では、松橋川、油山川の改修工事を進めます。老朽化した袋井西コミュニティーセンター建て替え向けに向け基本設計・実施設計に着手します。その他、ICTの推進では公共施設や学校などに無線LANを整備します。その他多くの事業が計画されています。

### □ 袋井市平成30年度 一般会計予算



〈単位:万円 対前年増減率:%〉

一般会計	3,235,000	△ 1.5
国民健康保険	788,700	△ 15.7
後期高齢者医療	74,500	10.9
介護保険	542,400	△ 1.2
公共下水道	247,600	14.1
農業集落排水	2,900	38.8
駐車場会計	6,000	△ 3.2
墓地	5,500	△ 63.3
小計	1,667,600	△ 7.0
水道	247,600	0.7
病院	208,800	2.6
小計	456,400	1.5
総計	5,359,000	△ 3.0

### □ 平成30年度 主な事業一覧

市総合体育館の整備(周辺道路含む)	17億4,500
基幹道路の整備(山梨・山の手等)	3億4,100
市防災センター整備負担金(消防庁舎)	2億7,200
袋井駅南地区の区画整理推進	1億9,900
幸浦の丘プロジェクト(防潮堤)	1億8,300
袋井駅南の認可保育所の新設支援	1億6,100
コミュニティセンターの管理運営	1億2,900
放課後児童クラブ専用施設建設	1億1,900
治水対策事業	1億1,000
袋井西コミュニティセンター整備	7,900
ICTを生かした教育	4,500
袋井型英語教育推進	4,400
浅羽中学校施設整備	2,700
地域防災力の向上	2,300
スリーデイズワーカーズ雇用促進	2,000
地域包括ケアシステム充実	1,800
新エネルギー機器導入促進	1,800

#### 学校トイレの洋式化の推進



和式から  
洋式に  
順次改修

市のトイレの洋式化率は33.0%と全国平均43.3%を下回っています。市では50%を当面の目標に整備を進めており、今年度は今井小、袋井中を改修していきます。

#### 新型MRI導入



聖隸袋井市民病院

最先端のMRIが導入されました。国内4台目というフィリップス社製の機器で検査中、閉所が苦手の方にも映像や音楽・照明を楽しみながらの検査ができます。

#### 消防庁舎整備事業



建設場所は警察署北側

老朽化している現消防庁舎と市の新たな防災センターとの併設という形で建て替えます。平成31年12月竣工、32年4月開幕予定で建築工事に着手です。

#### 防潮堤の整備



津波からまちを守る

浅羽海岸5.35kmに標高12mの防潮堤を平成26年より県と市が連携し、事業着手しています。平成30年度までに市の事業分全体の約8割、4.1kmを整備します。



# 大庭の一般質問

一般質問の全文は、大庭のホームページからご覧ください。

## ■企業誘致について

### 企業立地調査結果を受けて

**問** 将来の袋井市のさらなる発展のため、企業誘致を推進し、一層の雇用の創出や市税収の確保をすべく、市議会に「まちづくり対策特別委員会」(大庭議員が特別委員長)を設置し議論を進めてきた。とくに近年は企業誘致のための土地も不足し、新たな土地確保が課題となっていたことから企業誘致のあり方について平成27年、議会としての意見をまとめ市長に提言をした。

市ではこれを受けて、2回にわたって企業立地のための調査を実施してきているが今後の進め方を伺う。

**答** 豊沢工業団地と小笠山山麓開発地区の企業誘致の見通しがついた。次なる工業用地の創出に向け、現在、企業立地調査結果をもとに三川、宇刈、下山梨、土橋の4地区の調査をもとに検討している。

**問** 三川地区の調査結果を受けて今後どのように進めるか。

**答** 同地区を工業用地として開発する場合、急峻な地形、アクセス道路等、多額の費用がかかる。農振農用地区域からの除外など課題が多い。地価は坪10万円を超える見込みでありオーダーメード方式(企業の進出意向を受けて開発する方式)を基本としたい。

**問** 宇刈地区の調査結果はどうか。

**答** 埋蔵文化財の調査や、アクセス道路の住環境への影響も考慮する必要があり、交通量が少ない研究所向きと捉えている。県内でも研究所のニーズは少ないとから、三川地区同様、オーダーメード方式の開発を基本としたい。

**問** 森町袋井インター通り線沿いの下山梨地区への企業誘致はどうか。

**答** 同地区を工業用地として開発する場合、大量の盛り土材の確保が課題、また圃場整備などの農業投資もされ、認定農家への農地集積も進んでいるために農振農用地区域からの除外は厳しい。長期的な土地利用の観点から検討していくたい。

**問** 今回の調査に土橋地区12haが加えられたが、企業誘致を進める考えがあるのか。



**答** 土橋地区については、農振農用地区域からの除外、大量の盛り土材の確保など下山梨地区同様に課題はあるが、県との調整が必要な圃場整備がされていないため農業調整は比較的しやすい。三川、宇刈、下山梨、土橋の4地区の中では開発に要する期間や想定の坪単価等、許認可の可能性は土橋地区が比較的に高い。また、土橋に関心を示す企業もあることから、市としても開発の検討をスピード感をもって進めていきたい。

**問** 第一三共跡地における企業誘致について、昨年、温泉施設、総合スーパー、家電量販店、物流を誘致すると言っていたがその後の進捗状況はどうなっているか。

**答** 土地所有者であるヨシコンkkより、市と県に土地利用事業の実施計画承認申請書が提出されている。市は土地利用事業承認をし、夏頃までには開発行為の許可を予定している。引き続きヨシコンkkと情報交換を行い、土地利用の早期実現出来るよう取り組んでいく。



東名インター正面の旧第一三共跡地  
現在はヨシコンkkの土地となっている

**問** 商工会議所から市に提言されている袋井市内陸フロンティア構想をどのように進めていくのか。

**答** 東名と新東名を結ぶ新たな南北道路の整備については、長期的な土地利用の提案として受けとめている。まずは県に要望している森町袋井インター通り線の早期整備を促進していくたい。

## ■教育の充実を

### 新学習指導要領実施に向けて

**問** 新学習指導要領が平成32年度完全実施となる。英語教育や道徳等、どのように計画しているか。

**答** 英語教育は、既に平成28年度より袋井市英語教育推進4カ年計画に沿って新学習指導要領への円滑な移行をするため、段階的に英語教育を推進している。英語のDVD教材の配備や、ALT(外人講師)を現在の8人から、来年度より11人に増員していく。また、平成30年度から小学校で実施する「特別の教科道徳」もカリキュラムを作成し、教員が自信を持って授業に臨めるよう備えていく。

**問** 新学習指導要領実施や幼小中一貫教育の導入など平成30年度から3年間は学校における変革期となる。適切な支援をしていくべきではないか。

**答** 学校支援の充実にはレインボープランによる支援員の確保が重要であると考え、今後も支援員の確保や、新たな支援員導入について努力していく。

**問** 国が進めているICTの本市における進捗状況はどうか。

**答** 電子黒板機能つきプロジェクター、書画カメラ、デジタル教科書、コンピューター教室用パソコン、校務用パソコン、校務支援ソフト、学校間のグループウェアなどは、おおむね計画どおりの整備である。特にプロジェクターと書画カメラについては、本市の整備率は県内でも2番目に進んでいる状況になっている。



電子黒板付きプロジェクターを利用した授業風景

**問** タブレット導入は平成37年度と言うことで遅い。前倒しの導入は出来ないか。

**答** ICT整備が急速に進んでおり、推進計画を今後見直し検討していくたい。

## ■シティプロモーションの推進を

### エコパを生かした情報発信を

**問** 袋井市の魅力度は全国何位か。

**答** 全国1000市町村のうち、地域ブランド調査によれば、本市の魅力度ランキングは712位となっている。

**問** 市の情報発信が足りないのではないか。

**答** 新聞やテレビなど、地元報道機関に積極的な取材誘導を図り、メディアへの露出効果を高めるよう努めている。

**問** エコパには毎年県内外から120万人のお客様が見えている。市に来訪するお客様にもっと袋井市をPRをすべきではないか。

**答** イベントやコンサートなどでエコパに来場する皆様に本市を印象づけられるよう効果的な常設看板の設置、JR愛野駅南北自由通路への大型デジタル画面の設置等を検討する。



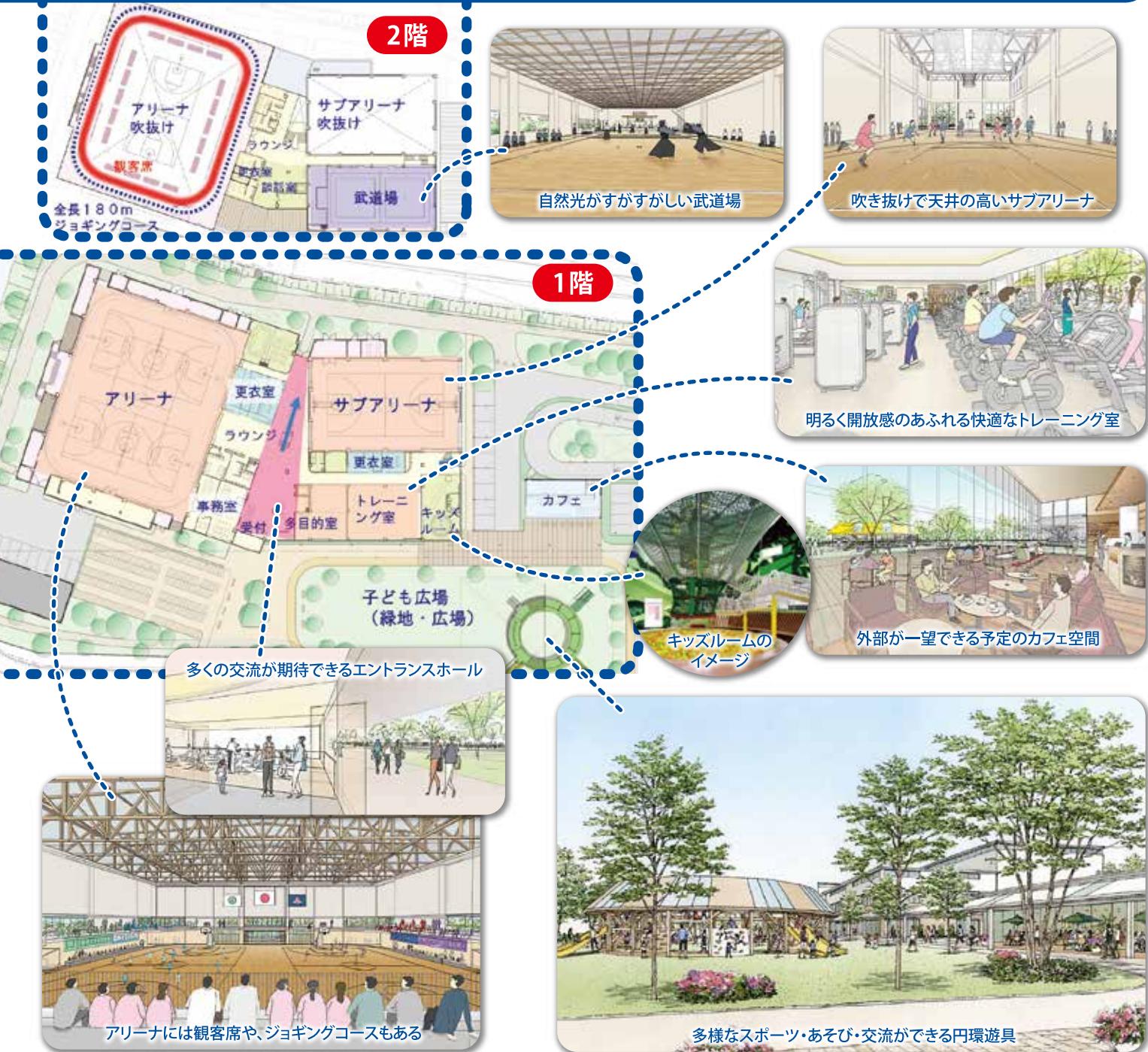
平成27年には「ももいろクローバー」公演に89,000人の観客がエコパを訪れている。昨年も「V6」「コブクロ」など多くの公演が開催されている。

# 新総合体育館は どんな建物? いつ完成?

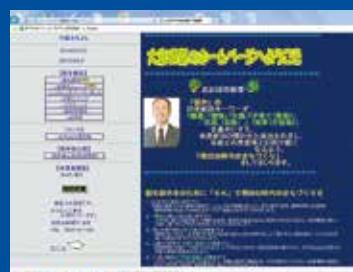
下の図は基本設計にもとづいたイメージ図のため実施設計とは異なるところがあります。

## スケジュール

- 平成30年 3月26日 起工式
- 平成30年 4月～平成31年 9月 建設期間
- 平成31年10月～平成31年11月 開業準備期間
- 平成31年12月～平成32年 3月 プレオープン
- 平成32年 4月 供用開始**
- 平成32年 4月～平成47年 3月 運営・維持管理期間(15年)



平成32年4月供用開始に向けて3月26日、元パイオニア・ディスプレイ・プロダクツ駐車場跡地において起工式が執り行われた。新しい体育館はPFI手法(民間の資金「8.4億円」を活用する社会資本整備方式)により、大和リース浜松営業所が代表企業となり、東急建設、丸明建設、静岡ビル保全、シンコースポーツなど5社によって特別目的会社(SPC)袋井アリーナPFI㈱を設立。15年間の契約のもとに運営・維持管理される。先進的な円環遊具やトレーニング室、キッズルームなど、また大手コーヒーチェーン店も併設し、約7,600m<sup>2</sup>の近隣にない施設となる。しかし、総額71.5億(建設・設計費40.8億円、運営・維持管理費15.5億円(15年間)、土地代・消費税等15.2億円)の大型事業であることや、今後スポーツ協会との事業の擦り合わせなど課題も多い。大庭議員はこれまで新総合体育館建設における特別委員会の委員長として原田市長に提言書を提出してきているが、今後も引き続き市民に喜ばれる施設の完成に向け事業を見守っていく。



大庭のホームページ  
皆様からのご意見お待ちしています。

■Eメール ohba@mxu.mesh.ne.jp 大庭みちよし 検索



No.172 2018 春号

発行所 大庭通嘉後援会  
事務所 〒437-0055 袋井市土橋187  
TEL 090-2138-9220  
FAX 0538-42-1925

大庭通嘉後援会ニュースは自費によるもので公費(政務活動費)は使っていません。